



がん検診は受けていますか？あなたと家族のためのがん検診

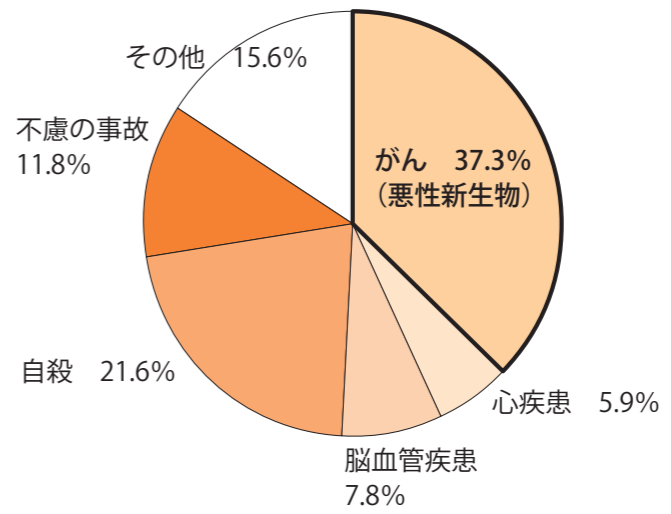
日本人の約2人に1人が「がん」になり、約3人に1人が「がん」で亡くなっています。「がん」は不治の病ではなく、早期発見・治療することで非常に高い確率で治すことができます。今月は、「がん」を早期発見するための「がん検診」についてお伝えします。

■佐呂間町のがん死亡状況

がんは、佐呂間町の死亡原因疾病の第1位です。がんで亡くなる方の中には、40～50代の働き盛りの年代の方も含まれているため、64歳以下の若い年代でも同様に、死亡原因の第1位となっています。(図1)

佐呂間町の死亡原因となったがんの部位別では、1位「胃がん」、2位「肺がん」、3位「大腸がん」の順で、全国の数値と比較すると、男性では「大腸がん」、女性では「肺がん」で亡くなる方が多い状況です。

図1 64歳以下主要死因(割合) H19～H23 佐呂間町集計



■がん発生のメカニズム

がんになるリスクはある。がん細胞は健康な方の身体でも1日に約数千個も作られます。

■がんによる死亡を防ぐには？

がんの種類にもよりますが、がんの大きさが1～2cm以下の早期のがんを発見し、治療につなげることで約9割

普段、作られたがん細胞は、免疫細胞によって排除されています。しかし、免疫細胞が負けて残されたがん細胞が増殖すると「がん」を発生します。規則正しい生活を送ることで発症のリスクを減らすことができます。がん細胞は健康な方でも毎日作られるため、ゼロになることはありません。

が完治すると言われています。早期のがんの多くは自覚症状がありません。そのため、気づかないうちにがんが進行してしまうことがあります。早期発見のためには、症状が無いうちから定期的ながん検診を受けることが重要です。(※がん検診は自覚症状がない方を対象としているため、症状のある方については、検診ではなく病院で受診してください。)

がん検診の中でも、「胃がん」・「肺がん」・「大腸がん」・「乳がん」・「子宮頸がん」の検診は早期発見に有効です。(表1) 佐呂間町のがん検診受診率をみると、胃・肺・大腸がんについては全国の受診率と比較しやや高めですが、子宮頸がん・乳がんについては全国より

表1 佐呂間町が実施しているがん検診

対象臓器	効果のある検診方法	対象年齢	推奨受診間隔
胃	胃X線	35歳以上	1年に1回
大腸	便潜血検査	35歳以上	1年に1回
肺	胸部X線 ※喫煙者は喀痰細胞診の併用	35歳以上	1年に1回
乳房	視触診とマンモグラフィ併用	40歳以上女性	2年に1回
子宮頸部	細胞診	20歳以上女性	2年に1回

りも低く、どの検診も国が目標とする50%を下回っている状況です。(表2) がんは、規則正しい生活習慣でリスクを減らすこと、早期発見・早期治療で治る病気になることができます。働き盛りの方でもがんで亡くなっている方もいるため、「まだ若いから大丈夫!!」と考えずに、自分のため、家族のためにがん検診を受診しましょう。

■がん検診を受けた後が大事!!

がん検診で精密検査が必要とされた場合、「がんの疑いを含め異常(病気がありそう)」と判断されたこととなります。(図2) その原因について、より詳しい検査を行い、本当に異常があるかどうかを調べる必要があります。症状が無く健康だからと精密検査を受けないと、早期発見できるはずのがんを放置することになります。

精密検査が必要とされた方は、すぐに専門医を受診しましょう。

表2

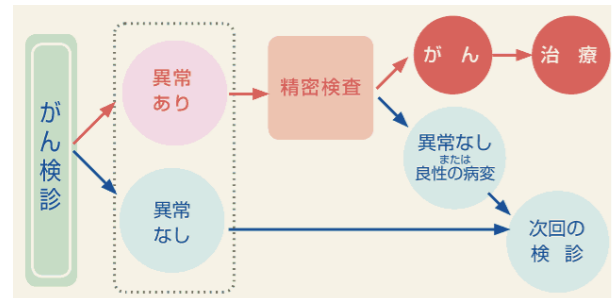
平成24年度

佐呂間町がん検診受診率

検診項目	性別	受診率	平成22年全国受診率
胃がん	男性	31.8%	36.6%
	女性	26.8%	28.3%
肺がん	男性	33.5%	26.4%
	女性	30.8%	23.0%
大腸がん	男性	34.2%	28.1%
	女性	31.7%	23.9%
子宮頸がん	女性	16.5%	37.7%
乳がん	女性	16.4%	39.1%

H22 全国受診率 厚生労働省「国民生活基礎調査」から

図2



精密検査をしなければ早期発見・治療につながりません。

【特定健診・各がん検診のお知らせ】

佐呂間町では、特定健診とがん検診を同時に実施しています。40～74歳の国民健康保険に加入されている方はがん検診と一緒に1年に1回の特定健診をおすすめします。

■日程・会場 ○8月23日 若佐コミセン
○8月24・25日 町民センター

■申込締切 7月26日

■申込方法 回覧に記入又は電話

○役場保健福祉課保健推進係 Tel 2・1212

☆無料クーポン券をご活用ください!!

特定健診、大腸がん検診を無料で受けられるクーポン券をそれぞれの対象者に6月に送付しています。ぜひ、無料クーポン券で特定健診・がん検診を受診してください。



「牛でも受けられる？」の巻